【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公表番号】特表2007-501641(P2007-501641A)
【公表日】平成19年2月1日(2007.2.1)
【年通号数】公開・登録公報2007-004
【出願番号】特願2006-522184(P2006-522184)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　5/56　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　5/56

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月24日(2007.7.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
図５Ａの変形によれば、頂部にスロット２０が設けられた中空チューブにおいて案内されるブロック型の摺動要素が使用されている。図５Ｂは、ガイド要素が頂部にスロット２１が設けられた円筒チューブからなる別の変形を示している。摺動要素８は、ここでは球形を取っており、そのため、摺動する動きに加え、制限された揺れる動きも、スロット２１に垂直な、および案内方向に平行な平面において可能である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
図７は、この発明に従った装置の第３の実施例変形を示す。ここでは、摺動要素２に、ガイド要素９が通って延びる通路が設けられている。第３の実施例では、水平調節ねじ６は、その頭１１が後ろ側にある状態で逆に配置されており、カウンタナット２６が（前側で）ねじ６の端に搭載されている。水平調節ねじ６を調節するには、装置を口から取出さなければならず、その結果、水平調節ねじ６の位置をねじ回しで調節することができる。第３の実施例では、下部成形部分に対する上部成形部分の上方／下方調節のための調節可能接続手段２２は、より一層コンパクトであり、部分的に軟らかい覆いが設けられている。ユーザにとっての不快感が最小限となるように、上方／下方調節のための前記接続手段を、上部成形部分に部分的に組み込むことが可能である。調節接続手段は、垂直ねじ山２７と、それに適合するナット２４と、ねじ山２７と協同するねじ孔（図示せず）が設けられたハウジング２５とを含む。上方／下方調節のためには、接続手段がその間で作用している成形部分を口から取出して、ねじ山２７の軸の周りを互いに対して旋回させなければならず、それによりねじ山は、ねじ孔すなわちハウジングに、多かれ少なかれ深く延びる。このように、上部成形部分と下部成形部分との間の垂直距離は、非常にコンパクトな構成で正確に調節可能である。さらに、ハウジングにねじ込まれて全体を固定するカウンタナット２４が設けられる。